



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



2020年5月25日
夕刊

記事を読んで、問いに答えましょう。

①航空各社では、「乗客のマスク着用」に関してどのような対策を考えているか書きなさい。

②「マスク」という言葉を必ず入れて、記事の□に入る見出しを考え、12字以内で書きなさい。

③記事のように、航空会社では「新型コロナウイルス感染防止対策強化」に乗り出している。他の交通機関ではどのような対策が必要か。交通機関を1つ挙げて、あなたが考える対策の例を30字以内で書きなさい(句読点を含む)。

交通機関()

航空各社、回復見越し対策

化。日本の大手各社は地上カウンターでのビニールカーテン設置を開始、全日空は地上職員がフェースシールドを着用して対応する。海外では、カタール航空は客室乗務員が防護服を着

用する徹底ぶり。フィリピンセブ・パシフィック航空は乗務員に抗体検査を受けさせる方針だ。フィリピンのフィンエアは、空港での密集回避へオンラインでの事前チェックインを

要請するほか、優先搭乗を中止して後部座席から搭乗させる。機内のソーシャルディスタンス(社会的距離)を巡っては、運賃値上げにつながらないだけに対応が分かれる。日航は6月末まで隣り合う席の販売を停止する一方、全日空は中間席

の制限はしていない。国際航空運送協会(IATA)は、高性能フィルターを備え、換気状態にある機内での感染リスクは他の交通機関と比べて低いとして、中間席の制限は勧告していない。日航も利用客の不安を和らげるための一時的措置としている。

経済再開による利用客回復を見越し、世界の航空会社が新型コロナウイルスの感染防止対策強化に乗り出した。日本では全日本空輸が来月から利用客に対して機内や空港で必ずマスク着用を求め、注意後も着けない場合は搭乗拒否も。日本航空とスカイマークは、乗客同士の接触を避けるため中間席の使用を当面制限する。マスク着用は海外の主要各社も相次いで義務化しており、「空の新常識」となりそうだ。

全日空はマスク着用を「要請」としてとめていた業界団体の指針よりも踏み込んだ形。大きく落ち込んだ運航便の段階的な再開へ、利用客の不安払拭(ふっしょく)が急務になっている。マスク着用を筆頭に客室乗務員や地上職員の防護も強



航空各社の対策	JAPAN AIRLINES ANA	ANA	SKY スカイマーク
マスク	着用の協力要請	必ず着用。断れば搭乗拒否も	着用の協力要請
中間席	制限	制限なし	制限
地上カウンター	ビニールカーテン	係員はフェイスシールド。ビニールカーテン	ビニールカーテン
客室乗務員	マスクと手袋	マスクと手袋	マスクと手袋

おもてなし接客再考も
桜美林大の戸崎肇教授(航空政策)の話。客室乗務員が乗客に顔を近づけるなどして親しみを演出する「おもてなし」を特徴とした日本の機内サービスは、新型コロナウイルス感染防止に必要なソーシャルディスタンス(社会的距離)の観点から考え直

す時にきている。感染症がある程度収束すれば、過剰な移動自粛を断ち切る方が必要だ。空港での密集を解消しながら安全確保ができるように、人工知能(AI)などの最新技術を用いた簡便な検疫体制や入管手続きを政府が調整役となって整備する必要はある。入国後の人の動きをチェックする体制も重要だ。

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(中学校~高校/社会、保健体育)



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

2020年5月25日
夕刊

解答例

記事を読んで、問いに答えましょう。

①航空各社では、「乗客のマスク着用」に関してどのような対策を考えているか書きなさい。

(マスク着用の)協力を要請したり、義務化したりしている。

②「マスク」という言葉を必ず入れて、記事の□に入る見出しを考え、12字以内で書きなさい。

③記事のように、航空会社では「新型コロナウイルス感染防止対策強化」に乗り出している。他の交通機関ではどのような対策が必要か。交通機関を1つ挙げて、あなたが考える対策の例を30字以内で書きなさい(句読点を含む)。

交通機関()
(例)
▽交通機関(鉄道)
座席は隣同士で座ることがないように印をつけておく。(25字)

▽交通機関(バス)
運行本数を調整し、車内が混雑しないようにする。(23字) など

航空各社、回復見越し対策

経済再開による利用客回復を見越し、世界の航空会社が新型コロナウイルスの感染防止対策強化に乗り出した。日本では全日本空輸が来月から利用客に対して機内や空港で必ずマスク着用を求め、注意後も着けない場合は搭乗拒否も。日本航空とスカイマークは、乗客同士の接触を避けるため中間席の使用を当面制限する。マスク着用は海外の主要各社も相次いで義務化しており、「空の新常識」となりそうだ。

全日空はマスク着用を「要請」として扱っていた業界団体の指針よりも踏み込んだ形。大きく落ち込んだ運航便の段階的な再開へ、利用客の不安払拭(ふっしょく)が急務になっている。マスク着用を筆頭に客室乗務員や地上職員の防護も強

(例)空もマスク 新常識に (9字)
マスク着用 空の新常識 (10字)
機内や空港 マスクが常識 (11字) など

航空各社の対策	JAPAN AIRLINES ANA	ANA	SKY スカイマーク
マスク	着用の協力要請	必ず着用。断れば搭乗拒否も	着用の協力要請
中間席	制限	制限なし	制限
地上カウンター	ビニールカーテン	係員はフェイスシールド。ビニールカーテン	ビニールカーテン
客室乗務員	マスクと手袋	マスクと手袋	マスクと手袋

化。日本の大手各社は地上カウンターでのビニールカーテン設置を開始、全日空は地上職員がフェースシールドを着用して対応する。海外では、カタール航空は客室乗務員が防護服を着

用する徹底ぶり。フィリピンのセブ・パシフィック航空は乗務員に抗体検査を受けさせる方針だ。フィンランドのフィンエアは、空港での密集回避へオンラインでの事前チェックインを

要請するほか、優先搭乗を中止して後部座席から搭乗させる。機内のソーシャルディスタンス(社会的距離)を巡っては、運賃値上げにつながらないだけに対応が分かれる。日航は6月末まで隣り合う席の販売を停止する一方、全日空は中間席

の制限はしていない。国際航空運送協会(IATA)は、高性能フィルターを備え、換気状態にある機内での感染リスクは他の交通機関と比べて低いとして、中間席の制限は勧告していない。日航も利用客の不安を和らげるための一時的措置としている。

おもてなし接客再考も
桜美林大の戸崎肇教授(航空政策)の話、客室乗務員が乗客に顔を近づけるなどして親しみを演出する「おもてなし」を特徴とした日本の機内サービスは、新型コロナウイルス感染防止に必要なソーシャルディスタンス(社会的距離)の観点から考え直

す時にきている。感染症がある程度収束すれば、過剰な移動自粛を断ち切る方策が必要だ。空港での密集を解消しながら安全確保ができるように、人工知能(AI)などの最新技術を用いた簡便な検疫体制や入管手続きを政府が調整役となって整備する必要はある。入国後の人の動きをチェックする体制も重要だ。

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(中学校~高校/社会、保健体育)